

ユズリハ だより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp 14号

2009. 5.10 (14)
東京公害患者と家族の会
 文京区小石川5-33-7マツモトビル2F
 TEL03-5802-2366 FAX03-5802-2377
ぜん息110番
 03-5840-8446

旅行会締め切りせまる

おかげさまをもちまして、「健康回復」患者会旅行会は150余名にまで参加者が増えました。バスも4台を連ねての大旅行会になります。患者や家族のみなさんが安心して楽しんでいただけるように、旅行会実行委員会・幹事・事務局一同努めますので、一緒に楽しい思い出をたくさん作りましょう。



まだバスに若干の余裕がありますので、参加申し込み受付しております。既に申し込みをされておられて、参加費納入の方法がわからない方は事務局にご連絡ください。03-5802-2170 『旅行会当日の納入は受け付けられません』

バスの配車場所・集合・出発時間・旅行日程等はハガキでお知らせします。

第34回・全国公害被害者総行動

6月1日(月)

集合11:00 - 日比谷公園霞門〔昼食〕- 12:00デモ - 行進 - 14:00省庁交渉〔交渉担当以外は農水省前〕- 18:00日比谷公会堂〔食事を済ませる〕総決起集会

6月2日(火)

8:30-日比谷公園霞門〔担当は早朝宣伝行動〕- 10:00省庁交渉〔交渉担当以外はチッソ社前〕- 11:00-霞ヶ関大行動〔総行動全体の総括〕- 12:30解散

一日目 6月1日(月)

集合場所(日比谷公園・霞門)に着いたら「東京公害患者と家族の会」と書いたのぼり旗の立っている所で受け付けをしてください。

患者会のタスキと昼食弁当・夕食弁当券・その他を受け取ってください。

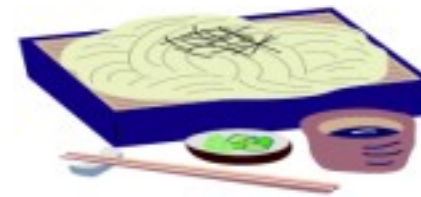
少し早めですが12:00からのデモ行進までに食事を済ませてください。

デモ行進のできない患者さんは、農水省前に集合してください。(青い腕章をしているのが支部責任者・事務局員ですのでおたずねください。)

お弁当の持ちは個人でお持ち帰りください。



2005年第30回 全国公害被害者総行動



神代植物公園ゆっくりウォークに参加して

患者会の企画で4月19日(日)都立神代植物公園、ゆっくりウォークが実施されました。当日は快晴、さわやかな気温で広々とした15万坪の緑豊かな公園内をゆっくり散策しました。参加者10名といささか少なかったのは残念でしたが、園内には5千種10万株の植物が植えられており圧倒されました。

園のシンボル・フランス式庭園の5千株のバラは開花には少し早く残念でしたが、ちょうど満開のツツジはアマチュアカメラマンが数多く撮影していました。

そのほか、亜熱帯植物温室、武蔵野を模した広い雑木林の散歩道。おたまじやくしが棲む水生植物園、深大寺城跡など見どころは多い。また園外でいただいた深大寺そば(そば屋さんは20軒もあり)盛りそばの量の多さにビックリ。楽しい一日でした。



湯立て坂だより 其の十一 湯立坂の危機?

公害患者会本部に向かって湯立坂を下ると、なんと清々しいことでしょうか。患者会の方の何人かは「キツイ」からと、この長い坂を好いていない方も居られるようですが、私は湯立てが大好きです。この緑に包まれた湯立坂をゆっくりと下るときはとても和やかな気持ちになれるのです。そして、「今日もがんばるぞ」と自分をいましめることができます。この湯立坂には、トチノキの高木を含めたくさんの従僕があり、大谷(美術館)さんの敷地にはダケカンバ(白樺?)まで植えられているようです。この坂を、簸川神社・小石川植物園方面を見下ろし、歩きながら古の風景と土地柄を想像するのです。すてきだと思いませんか?

ところがです。いよいよ坂の中腹に工事が始まりました。ショベルカーやトラックが入り掘削しています。危ぶまれていた「地下2階地上14階の高層住宅」建設が始まったのかしらと思われるのです。「まった」をかけた気持ちがいっぱいです。十分な地域住民の声を聞いた上での取り組みなのでしょうか。このような素敵どころに高層ビルが建てられたら、緑はどうなるのだろうか。地下水は、景観は、そして、豊かな緑と一緒に守られてきた文化遺産「銅御殿」(アガリテ)はどうなるのでしょうか。ビル風が心配されます。高層ビル建設が地域環境に与える影響をしっかりと考慮して、地域住民の納得のもとに着工してほしいと思います。

今は、抗議の気持ちが募ります。 (K)

都条例の認定を受けている患者のみなさんアンケート調査にご協力をお願いします。

昨年の8月からぜん息の医療費助成制度が始まりましたが、認定を受けて医療費が無料になった患者のみなさんは、どの様に生活が変わりましたか?

医療費負担がなくなったことで、精神的に変わったことはありませんか? この制度をより充実した制度にするために、またより活用するために患者のみなさんにご協力いただき、環境経済学などを研究しておられる学者のグループの先生方がアンケート調査を実施されます。

おかけの病院や診療所でアンケートの協力を依頼されましたら、ご協力をお願いいたします。

調査表を診察時に手渡される場合や自宅に郵送されることがあります。

もしわからないことがありましたら、患者会の事務局にお問い合わせください。



公害対策・まちづくり



PM2.5団体署名、東京で5千件 早期達成を目指して！

5月1日に開催された第80回中央メーデーの会場である代々木公園歩道橋前で、PM2.5の欧米並みの厳しい環境基準設定を求める『PM2.5の欧米並みの厳しい環境基準設定を求めよう』宣伝行動とあわせて行いました。

東京大気汚染公害裁判の成果である「和解条項」の柱のひとつである『PM2.5環境基準の設定』を求めるといよいよ最終段階を迎えています。何としても欧米並みの環境基準を勝ち取るべく全国的な運動を展開して、その一環として、環境大臣宛（米国環境基準・WHOガイドライン並みの実効あるPM2.5環境基準設定を求める要請書）の団体署名運動に取り組んでおり、4月30日現在、東京では27百団体（全国45百団体）の署名が集まっています。東京の目標である5千団体（全国1万団体）の早期達成を目指して、



各団体の支
部・分会・
班や個人の
参加してい
るサークル
まちの商店
などあらゆる
グループや
に再度呼び
かけてくだ
さい。

PM2.5（微少粒子）環境基準を米国並みの厳しさで！

私たち患者会が裁判の和解の条件として、大きな期待を寄せていたPM2.5の環境基準の設定がされることになりました。ここまで到達するのに全国の大気患者会は環境省との熾烈な交渉を重ねて来ました。

しかし大切なのはこれからで、**実効ある基準値でなければ環境基準の意味をなさないのです。**（団体署名ご協力ありがとうございます。まだ5月末まで集約を続けています）

これからは益々環境省への働きかけを強めなければなりません。中央環境審議会大気部会の傍聴行動などを続けて、最後まで気を抜かずに取り組むことになりました。

6月1日の全国公害被害者総行動までに一定の方針が出される可能性があります。患者会員のみなさん、私たちの要求している基準値の環境基準が設定されたあかつきには、大気汚染改善の大きな可能性が待っています。さらに無駄な新設道路建設の歯止めになるなど、企業・財界・政界など世の中に及ぼす波及効果は大きなものがあります。

最後まで気を抜くことなく注目してください。

患者会がなぜ、ここまでしなければならぬのでしょうか？

しかし私たちが健康を守るためには、自ら行動しなければ健康や生活は守れないのです。



嬉しかったこと

4月25日、南部生協品川地区総会に組合員として参りました。

20年も前からNO2の測定を実施してきた生協でした。が、時間をいただいてPM2.5の署名をお願いしようと思っていました。

私が何も話さない前に、役員の内藤さんが、当日議題としてPM2.5の説明をされたのでびっくりしました。

つい先日まで私は「PM2.5って何！」と聞き返していたのです。

署名用紙を12枚持って行ったのに足りなくて、後から送って頂くことにして帰りました。

時代はどんどん変わっていき、私はおこがましいかもしれませんが、私自身は歩進んでいくと思っていた鈍感さに冷汗がきました。

品川八潮班 岩崎 和子

支部活動予定・支部活動報告

当面の活動予定

- 5月
- 10(日) 合同幹事会 13:30~スポーツセンター
- 11(月) 旅行会実行委員会 16:00~
- 14(木) 事務局会議 10:00~
総行動オルグ 13:00~
- 15(金) 総行動オルグ 9:30~
中央環境審議会大気部会・傍聴行動
- 17(日) 全国公害患者の会連合会第15回大会 1日目
- 18(月) 全国公害患者の会連合会第15回大会 2日目
- 19(火) 事務局会議 10:00~ 旅行実行委員会 14:00~
東京あおぞら連絡会理事会 18:30~
- 24(日) 旅行会 一日目
- 25(月) 旅行会 二日目
- 29(金) 森ヲミエさんの不服審査請求公開審査
- 6月
- 1(月) 全国公害被害者総行動 一日目
- 2(火) 全国公害被害者総行動 二日目
- 4(水) 大気汚染測定 (NO2) 一日目
- 5(木) 大気汚染測定 (NO2) 二日目

- 足立健康班会 - 足立支部 今井 重利
『ぜん息薬品の副作用について』

4月23日、『ぜん息薬品の副作用について』の健康班会が、千住曙会館で開かれ10名が参加しました。今回の班会は前回の『ぜん息治療薬』に引き続いて行われ、(みなみ薬局)の薬局長や今回は薬剤師の竹中さんが講師を担当されました。

班会では、どんなぜん息薬品にも期待どおりの働きをする効能「効き目」の部分と、その薬を使うことで起きる「副作用」目的外の作用、「不利益な作用」があることが説明されました。そして、「副作用」が心配だからといって、勝手に判断して薬を中止したり、中断するのは危険である。ぜん息のコントロールができずに慢性化したり、悪化して場合によってはぜん息死を招くリスクが高まる恐れもありますので『ぜん息薬』の服用については、医師の指示に従って正しく服用することが不可欠です。

ぜん息の薬物治療の中心は吸入ステロイドです。フルタイドやキュバルなどの予防薬や発作時に使用するサルタノール・メプチンエアーなどがあり、症状にあわせた正しい使用方法が求められます。

さらに発作が長期間に及ぶ場合には、全身性ステロイド薬のプレドニンなどの使用で起こる副作用については特に医師の指示に従うことが大切です。

NO2・全都いっせい測定

参加しましょう 大気汚染の測定です

患者会では年2回の、大気汚染測定運動を続けています。小さなカプセルを自宅に取り付けて24時間後に外し、事務局に送っていただくだけです。

今年6月4日~5日にかけて実施されます患者のみなさんが住んでおられる地域の汚染状況がわかります。

この運動は64回目、都内の様々な団体や個人が取り組んできました。集められたカプセルは『大気汚染測定運動東京連絡会』で解析されます。

No2(二酸化チッ素)は空気の汚れの指標です。

国の環境基準は0.04PPM~0.06PPMの範囲内、から以下が望ましいとなっています。患者会では患者宅と幹線道路沿道、道路以外などの結果を報告しています。

2008年12月の測定結果の報告がありました。患者会の会員の9割が住む地域では東京全体の一般住宅より一割弱NO2濃度が高いという結果です。

患者宅NO2汚染ワースト10 足立区5人 大田区4人 文京区1人と前回同様でした。

常設大気測定局の調査によればNO2濃度が高い地域ではSPMやPM2.5などの濃度も高く複合大気汚染によるぜん息等の患者の増悪が危惧されています。

次回(12月)の測定行動日には、まだ参加していただけない会員のみなさんにもご協力いただけると嬉しいな~などと考えています。6月4日からの測定日にご協力いただける新規会員の方は事務局までご連絡ください。自分の住んでいる地域の汚染実態を知ることができます。

